

令和6年度出雲市景観審議会議事録

とき：令和6年8月5日（月） 14:30～16:00

ところ：出雲市総合体育館 会議室

出席者：

審議会委員

区分	氏名	摘要
市議会委員	宮本 享	出雲市議会 建設農林水産委員会委員長
学識委員（建築）	原 裕子	島根県建築士会平田支部副支部長
学識委員（文化財）	和田 嘉有 ◎	出雲市文化財保護審議会委員
学識委員（土木）	櫻 隆之 ○	出雲市建築審査会会長
学識委員（道路）	平田 明子	国土交通省道づくり女性会議委員
学識委員（造園修景）	榎野 浩二郎	島根県景観アドバイザー
各種団体代表委員	野井 美香	出雲商工会議所女性会会長
	浦部 えつ子	J Aしまね出雲女性部部长
市民委員	田邊 達也	出雲観光協会会長
	山田 隆章(欠席)	島根県広告美術協同組合理事長
	高田 茂明	出雲市自治会連合会副会長
	吉田 美智子(欠席)	前出雲文化伝承館館長
	出席：計10名	

◎：会長 ○：副会長

出雲市新体育館 整備運営事業者	東本 貴弘	有限会社ナック建築事務所 代表取締役
事務局	三代 正幸	都市建設部部長
	土井豆 徹	都市建設部次長 兼 建築住宅課課長
	永妻 清信	都市計画課課長補佐
	岩崎 修二	建築住宅課課長補佐
	神門 香菜	建築住宅課副主任技師
	柳樂 真也	建築住宅課主事

<配付資料>

資料 第16回全国散居村サミット in 出雲の開催について
第15回全国散居村サミット in 小矢部のプログラム

1. 開会

2. 部長あいさつ（代理）

（要旨）景観審議会の委員の任期について、本年4月1日より新たな任期となっており、ほとんどの委員の皆様には引き継ぎで就任をいただいている。

本日は、まず会長、副会長を選任していただき、その後本年度完成したこの新体育館の施設見学を予定している。新体育館については、平成31年3月に景観審議会で最初に審議いただいてから5年が経過している。本日は、新体育館の建設に携わられた事業者の説明を受けながら、実際に完成した新体育館をご覧いただき、感想や今後の審議に関するご提言が頂戴できればと思っている。また、その他事項として、本年10月21日に開催する全国散居村サミット in 出雲について、案内させていただきたい。

※出席者紹介

※審議会の成立

委員12名のうち10名が出席（過半数の成立要件を充たす）

3. 議事

（1）会長・副会長の選任

〔榎野委員〕 今までの実績等を踏まえ、引き続き会長に和田委員、副会長を櫻委員にお願いすることを提案する。

他の委員異議なしにより、会長：和田嘉宥委員、副会長：櫻隆之委員に決定した。

※会長・副会長あいさつ

以降は、和田会長が議長として進行。

4. 施設見学

（1）出雲市総合体育館視察

〔事務局〕 新体育館整備運営事業者として、新体育館の建築設計に携わってこれ、これまでの審議会にも出席し、説明していただいております、有限会社ナック建築事務所、代表取締役の東本氏にお越しいただいている。これから東本氏に説明をしていただきながら、実際に完成した体育館を確認いただければと思っている。

〔事業者〕 では実際に建物を歩いて見ていただき、その都度説明をさせていただく。
（施設見学）

※質疑、意見等

〔和田会長〕 実際に建物を見ていただいた。感想や意見等があればお願いしたい。

〔委員〕 以前パースを見せていただいた時に、駐車場の植栽計画が立ててあったが、あまり多いと維持管理が大変だという意見もあった。実際にできると、駐車場が広くて植栽が少ない気がする。斜面のシバザクラもいろいろな意見が出て、出雲地方の気候風土に合わないので変更したらどうかと

いう意見もあったと思うが、それをあえて植えられた理由をお聞きしたい。

斜面は、体育館に入ってきたときにそんなに見える面ではない。出雲らしい、春はこんな花が咲くとか、秋はこんな風になるとかがあればいいが、植栽が非常に少ないので、どういう考えでそうされたのかをお聞きしたい。

[事業者] 駐車場の台数の確保がある中で、できるだけ効果的なポイントに植栽を配置し、効果が出るように計画した。大型車両の横や駐車場の真ん中に配置し、西側の広場周りには、季節を感じられるような植栽を入れている。

シバザクラは、維持管理が難しいという話だったので、ウッドチップのマルチのグランドカバーをしながら維持管理していく方針でやっている。

[委員] 前回の審議会でシバザクラはやめたほうがよいと言っていたと思う。毎年植えて毎年冬に枯れる。シバザクラにこだわられる理由がよく分からないし、委員たちはみんな釈然としていないと思う。前回の審議会で、吉田委員が、伝承館でも植えているが、毎年枯れているとおっしゃっていた。それでもなぜシバザクラなのか。業者の方が広島の方だから、冬の山陰が分からないのかなと思った。今さら変更はできないのか。今年の冬を超えてみて、また検討していただけたらと思う。

出雲の市街地へ出るのに、R431のバイパスを通るが、左にこの建物を見ると、北側は物流倉庫みたいだと、やはり裏側だなという感じがする。私たちは、だんだんとまとアリーナと分かっていますが、普通の方は、どこかの倉庫みたいなイメージだと思う。道路の途中に左、出雲市体育館という表示があるから曲がると思いますが。今日は南側の正面から入ってみた。県立大学の標識は道路にあったが、だんだんとまとアリーナの標識はなかったように思う。少し手前に介護施設と北山温泉の標識があり、信号を超えたら、左、県立大学という標識が出てきた。体育館の標識を1個も見なかったが、これは見落としたのか、それとも元々ないのか。

[委員] 私も最初見落としたが、逆から来たら小さいのが信号機の近くにあった。

[委員] 県立大学と同じくらいの大きさの標識が立たないのか。

[委員] 分からなくて通り過ぎたと思い、Uターンしたら信号機のところに小さいのがあった。

[委員] 出雲市駅のほうから来ると、分からないので、そちら側から来る人のために必要だと思う。この前も県総体がここであった。生徒さん達は電車を降りて、歩いてくると思う。川跡駅からはどうか。

[委員] 駅から歩いてくれば、小さくは見える。知らない人は分からないと思う。

[委員] 学生さん達は、大会等で初めてここに来ると思うので、少し迷うだろうなと思った。そうやって川跡駅で、乗降する学生さんたちが増えなければ、この辺り一帯が賑わわないと思う。そのためにも、もう少し表示を増やしてほしいと思った。

[和田会長] 利用面からの要望があるが、出雲市から検討事項があるか。

- [事務局] 貴重な意見をいただいたので、いただいた意見は所管課にしっかり伝えようと思う。
- [和田会長] 私も北山の方から来たが、少し建物の壁面が大きいとは思った。
- [委員] 車で来るとなると、多分北山のほうのバイパス側から、皆さんいらっしゃると思う。だからやはり、裏だが、表の要素を取り入れた感じで、植栽等があるとイメージが違ってくると思った。
- [委員] 前回の審議会で、壁面はパッチワークにする、凹凸がある等の説明があったと思う。出来てみると私には、全部一体的に見えた。壁面が設計案からどうなったかを教えてほしい。前回の説明を聞いた感じだと、もう少しインパクトがあると思っていた。平面系は圧迫感があり、多少変化をつければ、壁が非常に魅力的なものになるという説明を聞いていたと思う。
- [事業者] 壁面は、田園パターンと言っていたが、格子状のパターンで、それを色分けした。外壁はALCパネルで壁面を作っているが、パネル自体に多少凹凸がついてるものを、パッチワーク的に組み合わせながら作った。そのあたりも現場の中で、色や形の部分的なサンプルを作り、それを見ながら現場で話し合いながら決めていった。
- [委員] こういう大規模な建築物については、壁面が大きい要素を占める。県の建物では、最終的な案については、県知事に伺って最終的に決めてもらうとか、複数案の中で、知事が決めたということがあったが、ここはどうか。例えば市長に決定してもらったということはないのか。
- [事業者] 今回はPFIなので、現場判断が通常よりも重視されていた感じはあった。当然市に確認はとって進めたが、市長が決定したというわけではない。市の合意をどうやって得ていくかは、大きな課題だと思っている。
- [和田会長] これからそのような意見が出てくと思うが、窓口はどちらになるのか。
- [事務局] 担当課があるので、そちらで受けて、必要があるものについては、市長に意見を伺うなどすると思う。
- [和田会長] おそらく経営管理の面も含め、今後いろんな意見が出てくと思う。その場合の窓口は、しっかりとしておいてほしい。
- [委員] 先ほど外構の話が出たが、榎野委員どうか。
- [委員] 全体的に植栽が少ないと思う。県立大学は、森の中の学校という雰囲気だが、なぜかというとな非常に木が大きい。維持管理をきちんとやっているかというところではない。維持管理はお金がかかるということもあると思うが、できるだけ維持管理費がかからない植栽管理の方法があると思う。そういったことを考慮し、北東側にも少し植栽を入れたらいいのでは思う。
- シバザクラについて、グランドカバープランツの維持管理は非常に難しく、一番成功しているのは芝。浜山もそうだが、全体的に芝を植えている。シバザクラもいいが、そういうことを考えるとグランドカバーは、芝がいいのではと。シバザクラも成功すればしばらくはきれいだが、なかなか難

しいと思う。

[事業者] 最近芝についても管理が難しいという話を聞いていて、場合によっては人工芝のほうがいいのではという意見もある。別の行政から話が出たりするが、そのあたりはどうか。

[委員] 人工芝はあくまでも人工芝なので、やはり天然芝には勝てない。例えば球場、屋内の場合だと全部人工芝になっている。やはり甲子園球場とか、フィールドだと天然芝に勝るものはない。人工芝に変えられたところもたくさんある。出雲ドームのサッカー場は、アイルランドの誘致の時に天然芝にしたが、管理の面から人工芝に変えた。しかし、サッカーをする上では摩擦とか、選手へのダメージや、芝の劣化があるため、また天然芝を使う予定。テニスコートも人工芝になっているが、あれも更新がいるため、お金がかかる。

[委員] シバザクラが植えてある斜面の下がコンクリートだが、転落防止柵がなかった。前回の審議会でも言ったが、もし子供が落ちたら怪我をすると思う。そのあたりの安全対策は、やらないと管理者責任で大きな問題になる。危ないところは手を入れていただきたい。ここはチェックをお願いしたい。
先ほど看板の話が出ていたが、看板は点々とつけないと見過ごして通り過ぎてしまう。Uターン等して交通事故が起きてしまうかもしれない。夜はどうしているのか。今はソーラーシステムも結構安いがあるので、夜間も照らしたらよいと思う。駐車場内の誘導の表示板も、夜間に照らすとかそういったことも考えてもらいたいと思う。

[委員] この建物と周辺のことについて、この建物を建てる時には貯水池を作ったりしておられると思うが、今回の大雨等で周辺に被害は出たのか。

[事務局] この体育館の周辺ではなかったが、出雲東郷のあたりやもう少し西側のあたりは少し浸水した。このあたりは令和3年にも同様に被害があった。この体育館は結構盛っているので大丈夫だが、逆にその周辺がどうかという心配があると思う。まだ田んぼが広がっていることもあり、貯水機能が働いていると思う。一方で、河川に一気に水が出て、特に傾斜があり平場に出てきたところというのは、やはり滞水してしまう。今年の7月くらい雨が降れば、高低差がないところはやはり水がはけにくい。今月にまず1回目として県の河川課と話をし、どういったところに被害が出て、その原因は何かということを共に考えていく会を設けようと思っている。

[委員] 建物のほうですが、現場を見て2階の観覧席の階段で転ぶという意見が出た。ゆっくりであれば問題ないが、急いでいけば転ぶ可能性があるため、注意喚起をされたほうがよいのではと思う。

[委員] ゆっくり上がれば大丈夫だと思うが、試合の最中だと焦ってつまづくとかがあるのではないかと。

[和田会長] その他どうか。

[委員] 竣工式の時にも説明を受けたが、今日また新たにいろいろな思いと話を聞かせてもらえてよかった。

[委員] 蛇足になるかもしれないが、壁面について、先ほどパッチワークではないのではないかと言われた。私は30何年パッチワークをしているが、あれはやはりパッチワークで、モノトーンだけでやるパッチワークもある。田園と言われたが、あのようなパターンは「福田衣（ふくでんね）」という。幸福の福と、田んぼの田と衣という字を書いて、仏教語で、袈裟を意味する。田んぼの中を区切ったように、袈裟はそうになっているので、それで福田衣（ふくでんね）というが、あれはそう思ってみれば大変ありがたい。立派なパッチワークだと私は思う。

[委員] 北側から見れば、パッチワークがはっきり見えるが、南から正面を見たときには分かりづらいかたと。

[委員] 正面は、美しい屋根があるので、パッチワークが見えなくてもそこまで問題ないかなと思う。

[委員] 景観の話ではないが、市民体育館なので、防災面で利用する考えはあるのか。

[事務局] すでに避難施設として認定をしている。土盛りをして高さを確保し、沈まないような構造にしている。建築をするときにいろいろな話があったが、その関係で土盛りの高さを確保した上に造った。

[委員] 知り合いが東京から来て、バイパス側から入ったが、何となく倉庫のイメージがしたと言っていた。あとは植栽が少ない。桜の木の大きなものが少しでもあればいいという意見をもらった。私もその時一緒に初めて見たが、その通りだと思った。今日の説明で、玄関からの山なみというのは、ちゃんと考えられていてとても素晴らしいと思ったが、くもの巣が上についているのは残念だった。下ばかりではなく、上のほうも綺麗であればいいと思う。

[和田会長] 山脈に合わせてこの建物ができたということで、展望デッキが北側に作られているが、あの場所はあまり使われていないのではと思った。今後、ソフト面のほうで使うような方法を考えていくべきではないかと思った。今後検討していただきたいと思う。

[事業者] 少し小さいので、あまり使われていないと思う。運用のほうで何かを変えるとか使い方を考えていこうと思う。

(2) その他（第16回全国散居村サミット in 出雲の開催について）

（資料に基づき、事務局が説明）

※その他の質疑、意見等

[和田会長] 文化財課の関係で文化財になっている建物の江角邸をこの間見に行った。そこに行くのに結構中の道に入ったが、なかなかいい道だと思った。そのあたりも今後景観の面でも考えていただければと思う。

[委員] 今、出雲市の総合振興計画の肉付けという形で、都市計画マスタープランが進められている。景観というのは、出雲市にとっても重要な部分であり、観光資源や、新たなものの把握、景観をどう生かしていくか、保全をどうかけるか、非常に大事だと思っている。

その中で気になっているのが景観形成地域で、この県立大学周辺もそうだが、5地域指定されている。景観形成地域の拡充が、10数年ずっと上がっている。拡充エリアは、島根半島、日本海沿岸、出雲大社周辺、木綿街道、立久恵峡周辺、須佐神社周辺、キララ多伎周辺。非常に魅力ある場所だが、出雲大社周辺については、あれだけまちづくりを一生懸命にやっておられ、いろんなものができ上がってきている。木綿街道もそうだが、そういうところに、景観形成地域をかけて、法的規制をかけてしまうのかと。また、非常に広大な島根半島、日本海に広くかけてしまうのかというところで、具体的に絞ったり、もっと違った視点で、こういう場所を新たな景観形成地域にしていくとかいう発想があったりしてもよいと思う。今動いていないので、言葉だけずっと10年20年あがっていても、結果的にはできてこないと思う。キララ多伎周辺も結構今動いていて、いろんな建物が建ってきているし、観光集客もあると思っているので、もっと開発が進んでいくと思っている。そういうところで、日本海の景観にマッチするような、そういうふうにするにはどうしたらよいか。予算が要ると思うが、何か基本計画みたいなものを出雲市が作り、それをベースに市民の方や地元の方といろいろ協議をして、作っていかないとなかなか進まないのではと思っている。そのあたりのいい知恵や考えが何かあれば聞かせていただきたい。マスタープランで実効性のないものをまとめてもあんまり意味がないので、いろいろお知恵を拝借したい。

[和田会長] 今意見が出たように、今後やはり景観形成をどういうふうにしていくかというのがひとつの課題になってきて、この審議会の重要な議題になってくると思う。このあたり、今後のあり方とか市でお考えがあれば、お聞きしたい。

[事務局] 以前の審議会で景観計画の見直しのことは、意見をいただいている。景観計画については、市の総合計画とマスタープランに沿った形で見直しをする。今おっしゃられた通り、現在次期マスタープランを作成中で、それが完成した際に、景観計画も策定してから期間がたっているの、それに合った景観形成地域の見直し、拡充も進めていかないといけないと思っている。出雲大社周辺は、地域でまちづくり協定を作っていただき、街なみ景観、修景をはかっているし、そういったところを生かしながら、景観計画に取り組んでいくことが必要だと考えている。景観計画に関係する都市計画マスタープラン

ができた後に予算を取り、景観計画の見直しを進めていきたいと考えている。

[委員]

マスタープランが終わってから予算化されて、それから見直しを進めていくということだが、マスタープランに上げる内容は、漠然とした構想的なものになる。この構想についても、ある程度道筋がないと構想とは言えない。漠然としすぎだと思う。どういう手法でやるとか、そういうメニューがいっぱいあるので、有識者など詳しい人にいろいろ意見を聞いて、決めてほしい。その場合に、出雲市で全部に法律をかけるのではなく、ある程度検討してマスタープランに上げていただかないと、マスタープランは、10年、20年のベースになってくるので、言葉だけではなかなか難しいと思う。ただ今どうやっているかという部分で、多少でも予算を取って、そういうのを立てられたらどうか。マスタープランが終わってから予算化というのは、順序が違うと思う。

[事務局]

漠然としているという指摘をいただいたが、大きな枠で捉えておいた上で、具体の部分について景観計画の中で位置付けていくということもあると思う。しっかりと拾えるようにというような意味合いも含め、マスタープランを考えていきたいと思っている。一方で、そういった意見もちゃんと反映し、マスタープランができた上に景観計画ができる必要があるということも分かったので、そういった意識を持った上で、マスタープランに引き続き取り組んでいきたいと思う。マスタープランについては、県の計画との整合性をとりながらということもあり、少し時間をかけて作っていききたいと思っている。これができるのは、令和7年度中で少し時間があるので、先ほどいただいた意見を反映していきたい。

それから景観計画については、今の段階でははっきり言えないが、意見をいただいたということで、検討させていただければと思う。

[委員]

そのところはどんどん詰めていかないと、流れて行ってしまうと思う。

[事務局]

おっしゃるように、お住まいの方のお話とかいろいろなことを聞いて、具体的に積み上げていかないといけないというような景観計画になると思う。ただマスタープランは、もう少し大きな枠、市全体と捉えて、その上で、今言ったような景観計画に繋がっていくものにしていかないといけないという性質もあるということをご承知いただきたい。おっしゃった意見については、十分わかりますので、反映させていきたいと思う。

[委員]

景観計画の拡充には出てこないが、マスタープランの委員さんの中で、外園海岸、西浜海岸、いわゆる菌の長浜についての意見が出た。砂が移動して海岸が細くなってしまっている。これをほっとくとせっかくの歴史的資源がなくなってしまう。そういったところの保全は、どういうふうにしてやっていくのか。景観形成地域の中でやっていくのか。ハード整備は入れないといけないし、いろいろな問題があるので、お知恵を拝借したい。

[事務局]

景観の関係とは別になるが、海岸がやせていくのを防ぐために、砂を持ち

込む養浜という取り組みをやっている。具体的にそういった事業をしている部分もあるが、今回お話になったのは、あくまでも景観の方でそういったところをしっかりと位置付けたらどうかということだと思う。これも意見として頂戴したい。

[委員]

今副会長がおっしゃたことに、非常に同感であり、景観は、日々、年々変わっていくと思う。出雲大社の話が出てきたが、協定を締結させていただいて、費用も投入していただいている。しかし、将来のビジョン、こんなまちにしたいというものがなく、そしてそれを実行する方策がきちんと決められていないので、例えば補助金がついていても要らないということで、赤や黄色の協定に反するものを建てられる。これも自由だが、結局それが建てば20年30年は変わらない。他の人たちは、100万ですむところを200万導入して、一生懸命、地域に貢献しようと努力されている。

私はあそこに20件しかないときからずっと関わっていて、持ち主が東京にいれば東京、広島にいれば広島まで行って、この建物は朽ちていて、観光客の皆さんから、青いシートをかけているのはまずいと言われるので、何とかして欲しいとお願いに1軒1軒全部回った。ところがビジョンとか、それに対する強制力とかがないので、結局は、好きなもの、補助金対象じゃないものをいろいろ建てる。そうすると結局、30年40年、そのまま残ってしまう。そこが一番大事で、例えば今日のこの場所も、今は周りがきれいな田園土地で、山なみのような建物だと言っているが、これからおそらく、マスタープランの話が出たが、用途地域の問題とか、ここをまちづくりでもう少しにぎやかなものにしようと思えばいろいろな規制がある。しかし、農業をやっておられる方もいることを考えると、本当に10年、20年後に、どういう景観にしたいかということ、漠然とはおっしゃるけれども、その時になったらもう遅い。これは非常に難しいことだと思う。今、それぞれ生活され、いろいろな活動もされている中で、それを1つのくくりで規制するのはとんでもないことだとは思っている。しかし、景観だけではなくその町全体のまちづくりを考えたときは、私も全国回るが、やはり成功しているところは、百年の計というふうにしてまちづくりをやっていて、非常に早い段階で高さ制限をしたりしている。非常に難しいことだと思う。私がもういないときの話をしているような感じだが、是非ともそのあたりを考えていただかないといけない。こういう景観の話とか、将来のまちづくりを考えていくときには、その都度その都度、急場しのぎをしても、おそらく、いい方向にはいかないと思う。

[和田会長]

景観行政の施策として、今後やはりそういう点が重要になると思う。いろいろと話ができるような、あるいはそういった提案があれば議題を出していただくような形で今後進めていきたいと思う。

[事務局]

今日は今後の景観のあり方を含め、非常に貴重な意見をたくさんいただいた。都市計画マスタープランが進行している中、今後、景観計画をどう絡ま

せていくか。以前の計画で上がっているところもあるが、年数も経っており、それぞれのところで考えもまちまちになっていると思う。進んでいるところとそうでないところ、いろいろあるので、担当課としてもいただいた意見を元に、そういったところも改めて整理をし、また地域の皆様の意向を伺いながら検討していく必要があると思っている。

閉会